

### 1 調査目的等

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。  
 ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。  
 ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

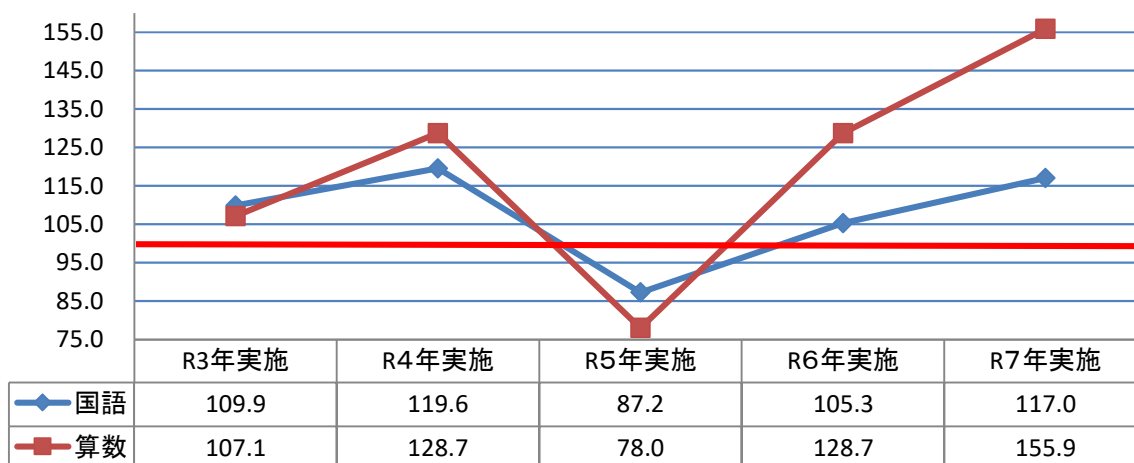
### 2 学校における学力向上に向けての取組

【基礎・基本の確実な習得を図る授業づくり】  
 ○「熊小授業の進め方」(めあて・見通し・一人学び・友達学び・まとめ・振り返り)の徹底  
 【文章を正しく理解し、自分の考えをもつことができる授業づくり】  
 ○シラバス、ワークシート、ガイドの工夫・活用と指導の徹底  
 ○自分の考えを「書く」「伝える」場の設定  
 【学力の基盤づくり】  
 ○補充学習(朝の活動、昼チャレンジ、補充タイム)の計画的実施と全員体制の維持  
 ○家庭学習の確実な見取りとやり直しの徹底

### 3 調査結果(全国の平均正答数を100としたときの標準化得点)

	国語	算数
本校	117.0	155.9
嘉麻市	91.5	83.9
全国	100	100

### 推移



#### 4 各学校における分析

##### 【国語について】

●文章の内容から、重要語句やキーワードを読み取り、文章から読み取った情報を、図や表に整理したり、要約したりすることに課題が見られた。「読む」力を高めるとともに、目的や相手に合わせて適切に表現できる力を育てる必要がある。

##### 【算数について】

●日常生活の中から、目的に応じて収集したデータを分類整理したり、表やグラフを考察したり、図形問題については構成要素とともに面積を問われたりするなど、複数の単元や領域にまたがる設問であった。そのため、各単元ごとを学習するだけでなく、単元に関連させた内容についても指導し、単元の指導計画を弾力的に取り扱っていけるように授業改善を図っていく必要がある。

#### 5 各学校における今後の取組

##### 【国語】

○文章を正しく読み取り、目的に応じて、自分の考えを書く力を育てる。書いたものについては交流を通し、自分の考えを深めたり、付加修正させたりして、考える力が高まるように指導する。  
○文章や様々な資料を関係付けて読み取る学習を補充時間に位置付け、具体的に指導する。  
○CD層児童の漢字未定着の部分を把握し、繰り返し指導する。(朝活や昼チャレの時間による継続的な指導)

##### 【算数】

○CD層の児童の算数の基礎となる計算の定着を把握し、繰り返し指導する。(朝活や昼チャレの時間による継続的な指導)  
○単元学習に関連した内容についても学ぶことができるように、授業改善を図る。

##### 【家庭学習】

○家庭学習カードを活用し、家庭学習の習慣化を図る。(自学、週末課題等の取組)

#### 6 嘉麻市教育委員会としての今後の取組

○子どもが進んで問題解決を図る授業づくりを推進することで、主体的に取り組む態度とともに、思考力・判断力・表現力の育成を図る。  
○小・中・義務教育学校とも、単元テストをもとに短いスパンで評価することを通して、一人一人の学習の定着状況を見とるとともに、個に応じた授業づくりを推進し、C・D層の子どもの学力向上を図る。  
○家庭学習の充実や帯学習の取組など、組織的な学力向上の取組を構築することを通して、基礎基本の定着を図る。